

イノシシに注意しましょう!!

最近イノシシが街でも見られるようになってきました。もし道で偶然イノシシを見かけた時や、イノシシの被害を防ぐために私達はどうすればいいのでしょうか？まずはイノシシとはどのような動物なのか知っていきましょう。

イノシシってどういう動物？

○臆病で注意深く・学習能力が高い

本来イノシシは昼行性ですが人を怖がって夜に活発に行動しています。警戒心が強く臆病なので、身をひそめる場所を確保しながら通りなれたけもの道を移動します。

また、記憶力がよく、高い学習能力を持ちます。そのため様々な対策をしても怖いことがなければすぐになれて安全な場所だと思ってしまう。

○跳躍力は1m以上・鼻が敏感

ジャンプ力が高く、助走なしで垂直に1m以上の高さを飛び越えられるだけでなく、20cmの隙間をくぐりぬけることができます。

○雑食性である

ミミズなどを食べるために土を掘り返します。春先はタケノコ、秋は稲やさつまいもなどが被害にあい、農家の方を困らせます。

○1回に4～5頭出産する

交尾期は年に1回で12～2月頃、出産期は4～6月頃、平均4～5頭を産みます。子どもが捕獲されたり死亡した場合は秋にも出産する場合があります。

- ・ジャンプ力が高い！
- ・1mの高さを飛び越える！

・警戒心が強く学習能力も高い！

・年に4～5頭子どもを産む！

・何でも食べる！

・鼻が敏感！

・地面を掘ったり

押し上げる力も強い！



むやみに近づくのは危険です！絶対にやめましょう！！



もしイノシシを見かけたら…こんな時どうする？



質問!

さて、ここで質問です。道を歩いていると、突然イノシシを見かけました。こんな時、どうすれば良いと思いますか？皆さんも考えてみてください。



答えは裏面を見てね!

では実際にイノシシを見かけた時はどのようにすれば良いのでしょうか。次のことに注意して落ち着いて行動してください。

答え! ゆっくり後ろに下がって、静かにその場を去る!



イノシシは基本的には臆病な動物であるため、こちらから何かしない限り襲ってくることはありません。街中へ下りてきたイノシシも自然と山へ帰っていくため、見かけた時は刺激を与えず、興奮させないようにすることが大切です。背中を見せず目を合わせないようにして静かに逃げてください。

その他にも下記の点に注意し、夜はイノシシに人間の存在を知らせる工夫をして、事故を防ぐようにしましょう。



注意!

- ①急に走りだしてイノシシを興奮させない!
- ②イノシシの子どもがいても絶対近寄らない!
(親が近くにいると襲われる可能性あり!)



重要!

- ③興奮しているイノシシがいたら逃げ道を作ってあげましょう!
- ④夜は懐中電灯や鈴をつけて歩くようにしましょう!



イノシシの被害を防ぐには?

イノシシの被害を防ぐには、イノシシを呼び寄せない環境作りをする必要があります。

えづ 餌付けをしないようにしましょう!



子どものイノシシは可愛いかもしれませんが、エサは絶対にあげないで下さい。人間を恐れなくなったイノシシは大きくなってからお家の周辺に出てくるようになります。

ペットを飼っているご家庭の場合は、ペットに与えたエサが正しく管理されているか、外でのエサやりには注意して下さい。また、ごみは収集日の朝に指定された場所に出し、ごみ散乱防止対策を行うなどごみ出しのマナーを守りましょう。

イノシシの被害を防ぐため、みんなで気を付けましょう。

